

## IT Drill & Tool Case



レーザーによる  
ネーム入れ



寸法:172×175×69 (mm)

材質:ステンレス鋼

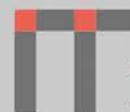
- ITインプラントの植立に必要なドリル&ツールがひとまとめに収納可能な専用ケース
- 蝶番(ヒンジ)から蓋の着脱が可能のためスペースを有効利用
- 購入された先生のお名前をレーザー刻印
- オートクレーブ滅菌対応




# IT IMPLANT

Users Basic Manual For IT Implant Placement

販売業者

 **アイ・ティー株式会社**


〒299-0261 千葉県袖ヶ浦市福王台2丁目13番地5  
ご注文・お問合せ  TEL:0120-37-7061 FAX:0120-37-7062

製造販売業者

 <http://www.platonjapan.co.jp>  
**PLATON JAPAN**

〒195-0062 東京都町田市大蔵町56 鶴川アカデメイアビル  
TEL:042-734-8088(代) FAX:042-734-1109

**ITインプラントとは** 1.3°の**テーパロック**構造の採用により、マイクロギャップ・マイクロレブメントを軽減しインプラント周囲炎を防止します。



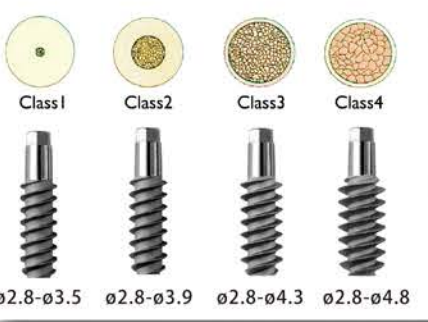
■ 骨質に応じて咬合力を発揮することを目的とし、インプラント体共通である軸径φ2.8から立ち上がる4種類のスレッド外径をラインナップしています。

■ 骨の変化を起こしづらいインプラントを状況に合わせて選択することが可能となります。

■ プラスト部の骨面からの露出を防ぐと共に、歯肉厚の厚みにより植立深度調整する機械研磨部のG1.0mmを付与。

材質：チタン合金  
スレッド外径(φ)

**骨質の分類** Lekholm & Zarb (1985)



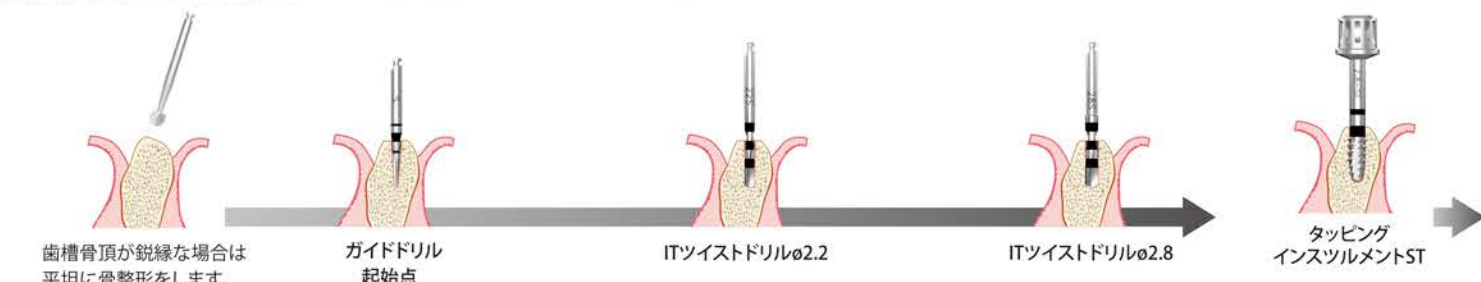
Class1 Class2 Class3 Class4

φ2.8-φ3.5 φ2.8-φ3.9 φ2.8-φ4.3 φ2.8-φ4.8

**ITインプラントドリルスケジュール** シンプルで安全を考慮した異なる**2パターン**のドリルスケジュール。

ホール径φ2.8まで段階的にインプラント窩をドリリングで拡大形成し、ITタッピングインストルメントで任意のITインプラントサイズまでファイナル形成をします。

[Pattern1] **スタンダードシステム** ドリル径を段階的に太くしてホール形成を拡大していくスタンダードなドリリング



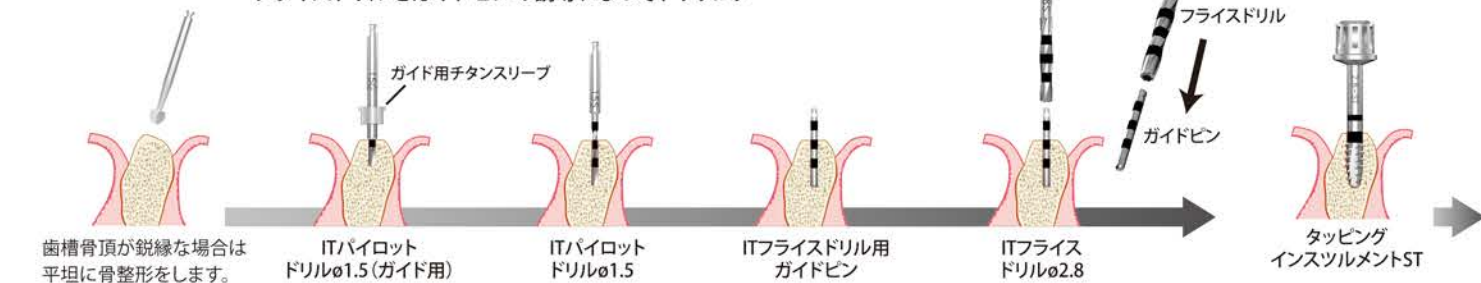
歯槽骨頂が鋭縁な場合は平坦に骨整形をします。

ガイドドリル 起始点

ITツイストドリルφ2.2 ITツイストドリルφ2.8

タッピングインストルメントST

[Pattern2] **ITピンシステム** 骨質の硬さや密度にばらつきがあり、意図した方向へのドリリングが困難な時などフライドリルをガイドピンの誘導によってドリリング



歯槽骨頂が鋭縁な場合は平坦に骨整形をします。

ガイド用チタンスリーブ

フライドリル

ガイドピン

ITパイロットドリルφ1.5(ガイド用) ITパイロットドリルφ1.5 ITフライドリル用ガイドピン ITフライドリルφ2.8

タッピングインストルメントST

Narrow **Class1** **Class2** **Class3** **Class4** thick

インプラント体のサイズに合わせてタッピングのサイズを段階的に拡大・タップ形成後は生理食塩水で窩洞内を洗浄し、骨片を除去します。



ITインプラント φ2.8-φ3.5 ITインプラント φ2.8-φ3.9 ITインプラント φ2.8-φ4.3 ITインプラント φ2.8-φ4.55 ITインプラント φ2.8-φ4.8

ITタッピングインストルメント φ2.8-φ3.5 ITタッピングインストルメント φ2.8-φ3.9 ITタッピングインストルメント φ2.8-φ4.3 ITタッピングインストルメント φ2.8-φ4.55 ITタッピングインストルメント φ2.8-φ4.8

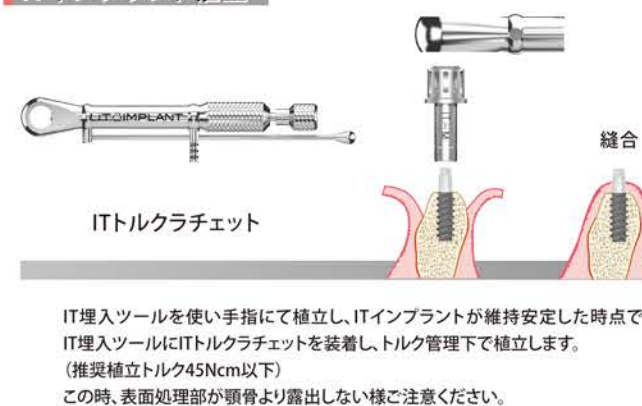
**ITアンブルケースの構造** 輸送時やITインプラントを取り出す時などに表面処理(プラスト部)が樹脂部と接触しないよう、純チタン製のITケースインナーを採用。



アンブルキャップ ITインプラント ITケースインナー(純チタン) IT埋入ツール アンブルケース

アンブルキャップを外し、IT埋入ツールがITインプラントにしっかりフィットしていることを確認後アンブルケースから取り出し口腔内へキャリアーします。

**ITインプラント植立**

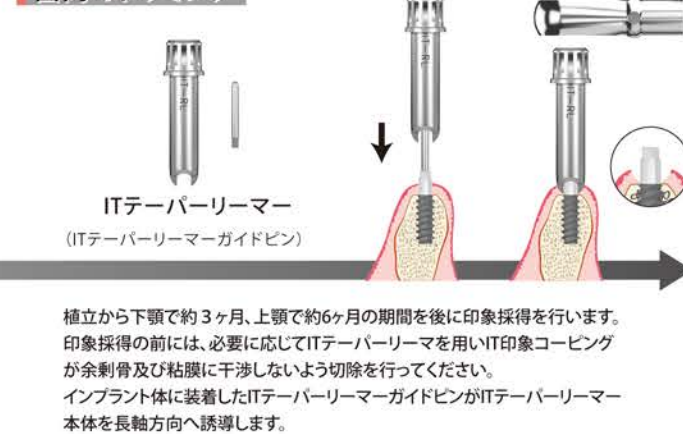


ITトルクラチェット

縫合

IT埋入ツールを使い手指にて植立し、ITインプラントが維持安定した時点でIT埋入ツールにITトルクラチェットを装着し、トルク管理下で植立します。(推奨植立トルク45Ncm以下) この時、表面処理部が顎骨より露出しない様ご注意ください。

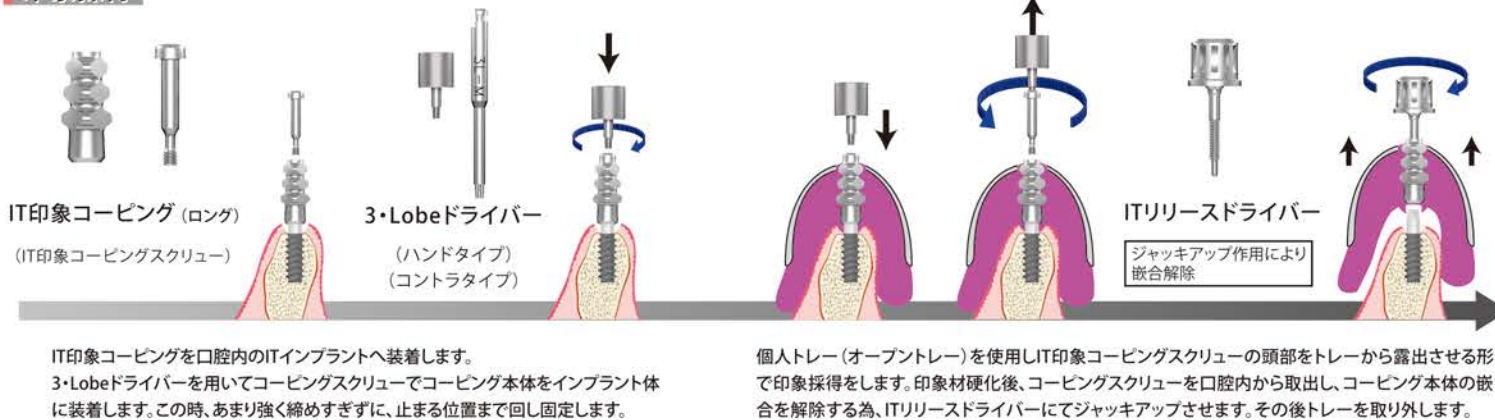
**歯肉のトリミング**



ITテーパリーマー (ITテーパリーマーガイドピン)

植立から下顎で約3ヶ月、上顎で約6ヶ月の期間を後に印象採得を行います。印象採得の前には、必要に応じてITテーパリーマーを用いIT印象コーピングが余剰骨及び粘膜に干渉しないよう切除を行ってください。インプラント体に装着したITテーパリーマーガイドピンがITテーパリーマー本体を長軸方向へ誘導します。

**印象採得**



IT印象コーピング(ロング) (IT印象コーピングスクリュー)

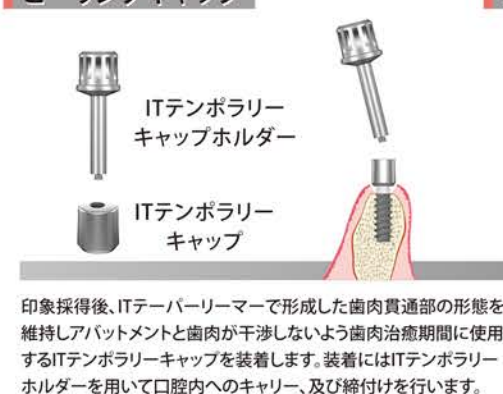
3・Lobeドライバー (ハンドタイプ) (コントラタイプ)

ITリリースドライバー (ジャッキアップ作用により嵌合解除)

IT印象コーピングを口腔内のITインプラントへ装着します。3・Lobeドライバーを用いてコーピングスクリューでコーピング本体をインプラント体に装着します。この時、あまり強く締めすぎず、止まる位置まで回し固定します。

個人トレー(オープントレー)を使用しIT印象コーピングスクリューの頭部をトレーから露出させる形で印象採得をします。印象材硬化後、コーピングスクリューを口腔内から取出し、コーピング本体の嵌合を解除する為、ITリリースドライバーにてジャッキアップさせます。その後トレーを取り外します。

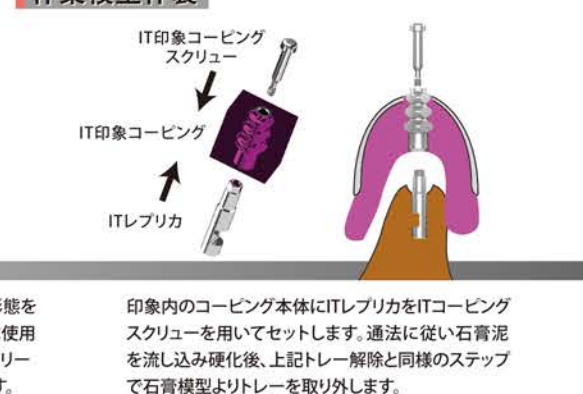
**ヒーリングキャップ**



ITテンポラリーキャップホルダー ITテンポラリーキャップ IT印象コーピングスクリュー IT印象コーピング ITレプリカ

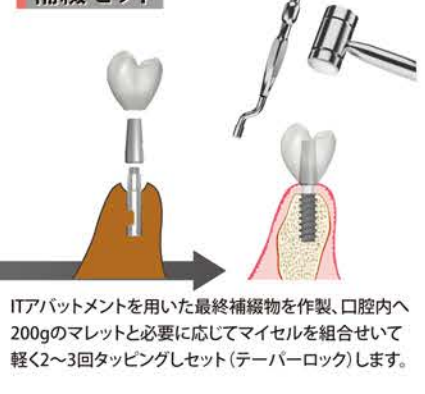
印象採得後、ITテーパリーマーで形成した歯肉貫通部の形態を維持しアパットメントと歯肉が干渉しないよう歯肉治療期間に使用するITテンポラリーキャップを装着します。装着にはITテンポラリーホルダーを用いて口腔内へのキャリアー、及び締付けを行います。

**作業模型作製**



印象内のコーピング本体にITレプリカをITコーピングスクリューを用いてセットします。通常に従い石膏泥を流し込み硬化後、上記トレー解除と同様のステップで石膏模型よりトレーを取り外します。

**補綴セット**



ITアパットメントを用いた最終補綴物を作製、口腔内へ200gのマレットと必要に応じてマイセルを組合せて軽く2~3回タッピングしセット(テーパロック)します。

**アパットメントの分類と種類**



**E Engage Type** 単冠修復における位置決め用の6角インデックスと回転防止機構を付与。インデックス

**NE Non Engage Type** インデックスが付与されていない連結修復物専用のアパットメント。

(Engage Typeのみ)

φ2.8ストレートアパットメント φ2.8アングルアパットメントA φ2.8アングルアパットメントB ITテンポラリーキャップ

※スクリューにてアパットメントを固定するタイプも将来的に販売予定です。

φ2.8アングルアパットメントは15°の傾斜を付与しております。また操作性、及び審美性を考慮しAは屈曲側にBは伸展側にリムーバーホールを設けております。

**IT Removal System**



ITクラウンリムーバー ITコントラクラウンリムーバー

ハンドタイプ コントラタイプ

ITリムーバルシステムは、作業模型や口腔内で必要に応じてメンテナンスを行う際に強固にテーパロック嵌合したアパットメントを容易に解除するためのシステムです。